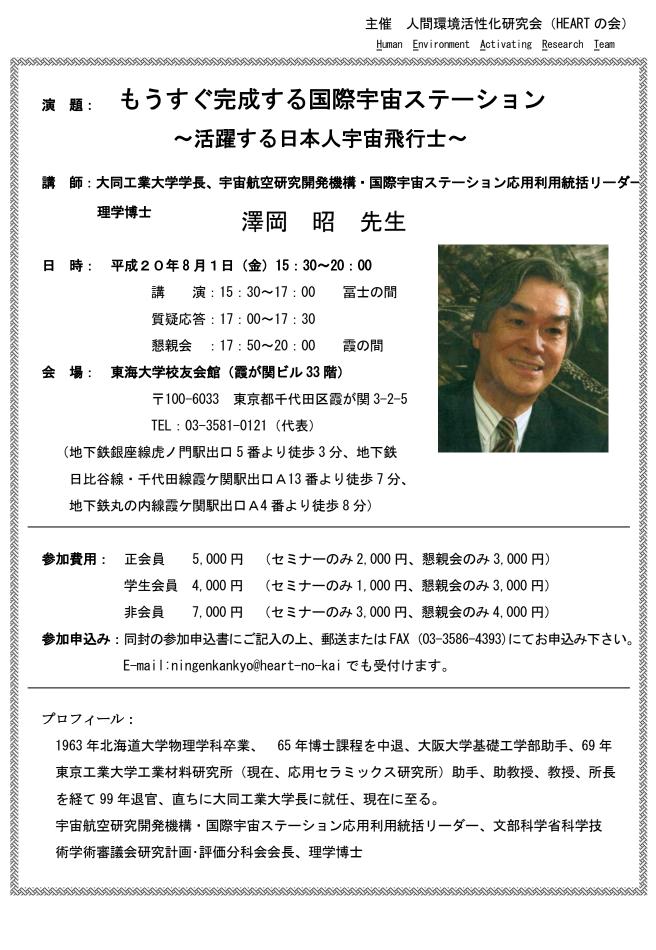
第40回セミナー及び懇親会のご案内

主催 人間環境活性化研究会 (HEART の会)

<u>H</u>uman <u>E</u>nvironment <u>A</u>ctivating <u>R</u>esearch <u>T</u>eam



講演概要

2008年6月、国際宇宙ステーション(ISS)に日本の宇宙実験室 "きぼう"の本体 "船内実験室"が取付けられました。この取付けには星出飛行士が重要な役割を果たしました。また、3月には土井飛行士の活躍によって船内保管室が取付けられました。残るは船外実験プラットフォームです。

年末から来年にかけて若田飛行士が I S S に長期滞在して、船外実験プラットフォームの取付けと沢山の実験装置の立上げを行います。

いよいよ20年以上待ちに待った、夢にまで見た"きぼう"の稼動が始まるのです。思えば長い道のりでした。しかし、手放しで喜んではいられません。まだまだ難問が多く控えています。

2010年にはISS建設の主役スペースシャトルが退役するからです。 どうやって宇宙飛行士と資材を運搬するのでしょうか。

"きぼう"を使った日本の宇宙実験計画や、今後の日本の宇宙開発の展望を述べたいと思います。

